

2016 年度 国際漁業学会大会個別報告プログラム

時間	第 1 会場 (206 教室)		第 2 会場 (208 教室)	
	座長	報告課題・報告者	座長	報告課題・報告者
09:30 09:55	(近畿大学) 日高健	1-1. 海底資源開発による漁業活動への影響評価をめぐって 東京海洋大学 婁小波・川辺みどり・鶴我佳代子	(中央水産研究所) 若松宏樹	2-1. 養殖マナマズの商品化に関する研究 近畿大学大学院 和田好平
09:55 10:20		1-2. 近海マグロはえ縄漁業の史的展開 東京海洋大学 高橋周・中原尚知・婁小波		2-2. 韓国における水産物消費の変容と養殖魚輸出 愛媛大学 原田幸子・金智薫・竹ノ内徳人
10:20 10:45		1-3. 近海マグロはえ縄漁業の存立構造と操業特質 東京海洋大学 婁小波・中原尚知・高橋周・岩田繁英		2-3. 養殖漁場の配分方法の決定要因～アオサ養殖を事例に～ 元三重大学 清水梨央 三重大学 松井隆宏
10:45 10:55	休 憩			
10:55 11:20	(中央水産研究所) 宮田勉	1-4. 限られた漁獲データから潜在的漁獲量を推定する手法の開発 東京海洋大学 岩田繁英・婁小波・中原尚知・高橋周・鶴我佳代子	(福岡工業大学) 大石太郎	2-4. 共有再生可能資源貿易における消費者の選好の異質性と貿易利益 ～中間報告としての貿易パターンの決定要因を含む～ 専修大学 小川健
11:20 11:45		1-5. ソデイカ釣漁業の展開と沖縄海域での操業実態 東京海洋大学 中原尚知・高橋周・婁小波		2-5. 日本の水産技術協力：セネガル産マダゴの付加価値向上と資源管理 OAFIC 株式会社 綿貫尚彦
11:45 12:10		1-6. 福島県沖浮体式洋上風力発電実証研究事業における利害関係者の構造 東京海洋大学 川辺みどり・婁小波 近畿大学 日高健		2-6. マダガスカルの水産物流通制度と流通の実態－沿岸地域と内水面地域の事例より－ 東京海洋大学大学院 櫻井恵子・馬場治
12:10 13:20	昼 食			
13:20 13:45	(三重大学) 中島亨	1-7. 養殖マダイの需給に関する計量経済的分析 近畿大学大学院 阪口潤	(近畿大学) 多田稔	2-7. コンゴ民主共和国ルブンバシにおける魚加工品流通に関する予備的報告 京都大学大学院 藤本麻里子
13:45 14:10		1-8. 消費者分析に基づく養殖ブリの商品設計に関する考察 自然産業研究所 大南絢一・高原淳志 近畿大学 有路昌彦		2-8. タイ湾における小規模漁業漁家の実態 中央水産研究所 宮田勉 高知大学 堀美菜 東南アジア漁業開発センター ソンクリア ジャリア・ ルアンシバクル スミトラ・スイシィ タニアラック・ティエ ラタナ カセサート大学 カェウナーン メッティ 総合地球環境学研究所 渡辺一生・石川智士

※報告時間は17分、質疑応答は8分とします。